

北見運輸支局構内ブロック塀補修工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

北見市東三輪3丁目23番地2
北見運輸支局

2. 工事種目

構内ブロック塀補修工事 一式

3. 工事内容

北見運輸支局構内ブロック塀を建築基準法に適合させる補修
※詳細は別紙の工事内容及び図面による

II 工事仕様

1. 一般共通事項

1-1 一般事項

仕様および図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」による。

ただし、いずれにも合致しない事項は協議による。

1-2 基本要品質

(1) 本工事で設置する機器及び付属品等は別紙に記載されているもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものとする場合は、応札時に当局の承認を得ること。

(2) 本仕様書に記載のない材料はJIS規格によるものとする。

1-3 施工一般

(1) 施工の各段階において、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。

(2) 本工事の施工にあたっては事前に監督職員と十分な打合せを行い、仕様に記載のない事項については監督職員の指示に従うこと。

1-4 工事関係図書

(1) 工事の着手に先立ち工程表を提出すること。

(2) 工事の進捗状況に対応する写真（デジタルカメラ編集でも可）を提出すること。

1-5 施工条件

(1) 開庁日の原則8：30～17：15の間で施工すること。

(2) 本工事に必要な電力、用水は原則として無償支給する。

1-6 施工中の安全確保

工事施工中の安全には十分配慮すること。

1-7 養生

近接する他の部材や建物を汚損しないように、ビニル張り、板囲い、シート掛け等の適切な養生を行うこと。

1-8 後片付け

工事の完成に際しては、建築物等の内外の後片付け及び清掃を行うこと。

2. 仮設

2-1 仮設材料

仮設に使用する材料は、使用上差し支えないものとする。

2-2 足場その他

足場等は労働安全衛生法その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。

3. 総合調整

構内における全体の施工完了時に現地確認および調整を行うこと。

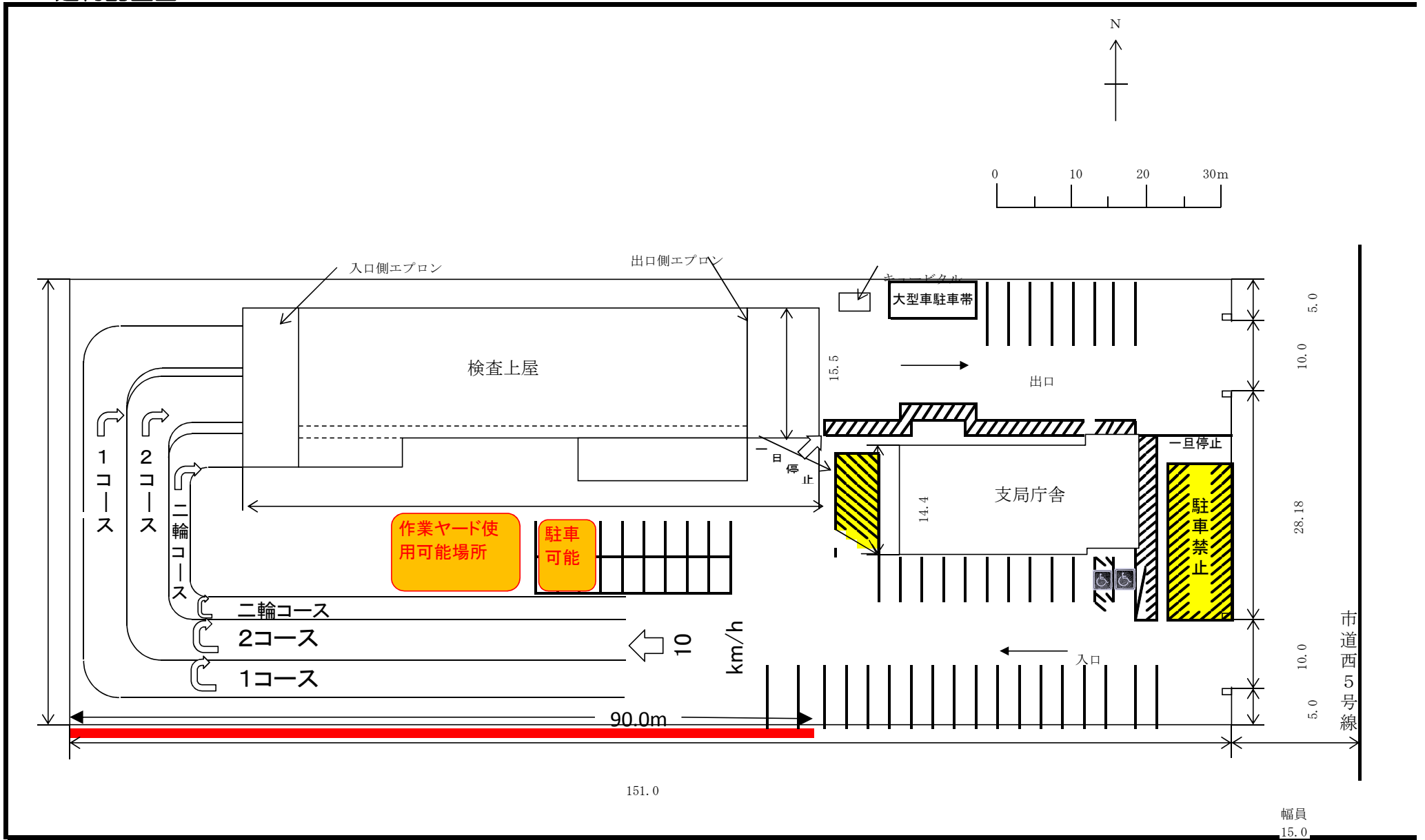
4. 発生材の処理等

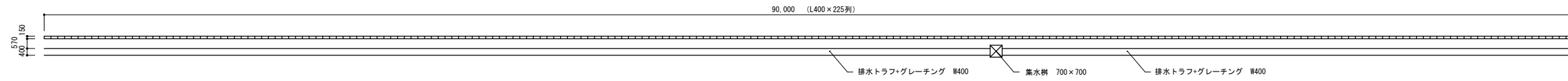
- (1) 発生材の抑制、再利用及び再資源化並びに再生資源の積極的活用に努めること。
- (2) 発生材のうち再資源化を図れるものについては、監督職員の指示を受けた場所に整理のうえ、調書を作成して監督職員に提出すること。
- (3) (2) 以外のものについては、関係法令に従って適正に処分を行うこと。
- (4) 産業廃棄物の処理は、収集から最終処分までをマニフェスト交付を経て適正に処理すること。

工 事 内 容

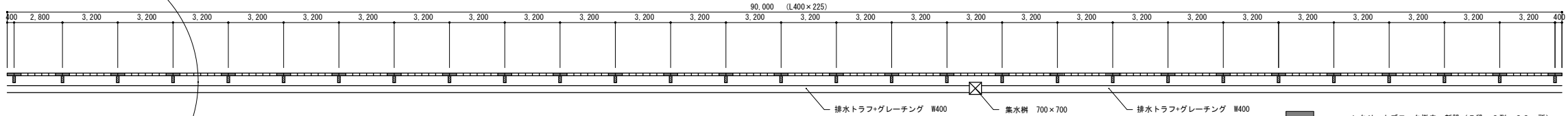
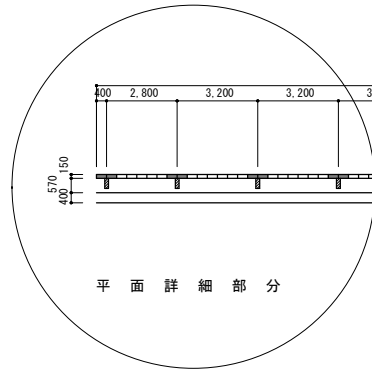
名称	品質・寸法	数量	単位
直接仮設			
遣り方	小規模	64.8	m2
墨出し	小規模 地上階	64.8	m2
養生	小規模 地上階	64.8	m2
整理清掃・後片付け	小規模 地上階	64.8	m2
外部仕上足場		29.0	m2
仮設材運搬		29.0	m2
土工			
根切り	小規模土工	31.2	m3
埋戻し(B種)	小規模土工	21.1	m3
建設発生土運搬	ダンプトラック4t積バックホー-0.28m3 土砂DID区間有り9.0km以下	52.3	m3
積込	土仮置き場	21.1	m3
土工機械運搬	根切り、埋戻し、土仮置き場	3.0	往復
残土処分	運搬共	15.2	t
地業			
砂利地業	再生クラッシュラン	8.8	m3
鉄筋			
異形鉄筋	SD295A D10 小口	0.65	t
鉄筋加工組立	小型構造物	0.65	t
鉄筋運搬費	4t車	0.65	t
あと施工アンカー	D10 横打ち	261.0	本
コンクリート			
普通コンクリート	基礎 Fc=21N/mm2 S-15cm	2.8	m3
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設	2.8	m3
構造体強度補正	基礎 3N/mm2 S-15cm	2.8	m3
塩分測定費		1.0	回
型枠			
小型構造物用型枠	擁壁、囲障等の基礎等	44.1	m2
型枠運搬費	4t車	44.1	m2
打放面補修	コーン処理 部分目違い払い	16.5	m2
コンクリートブロック			
控え壁	1.2m2/ヶ所	29.0	ヶ所
天端・側端モルタル塗り	基礎、CB面補修を含む	1.0	式
運搬費		1.0	式
舗装			
舗装復旧	人力 t20 路盤仕上げ	29.0	ヶ所
	t50 アスファルト安定処理 プライムコート		
	t40 粗粒度アスコン タックコート		
	t30 密粒度アスコン タックコート		
とりこわし			
人力掘削		8.6	m3
コンクリートブロックカッター入れ	モルタル面	158.4	m
コンクリートブロック造とりこわし	人力	3.5	m3
発生材積込	人力	3.5	m3
人力埋戻し		8.6	m3
アスファルト舗装カッター入れ		33.1	m
アスファルト舗装とりこわし	集積・積込共	3.7	m3
発生材運搬	ガレキ類	3.5	m3
発生材運搬	アスファルト類	3.7	m3
発生材処分費	ガレキ類	8.1	t
発生材処分費	アスファルト類	8.5	t
重機運搬		1.0	往復
共通費			
共通仮設費		1.0	式
現場管理費		1.0	式
一般管理費		1.0	式
循環税相当額		1.0	式
工事価格			
消費税等相当額			
合計			

建物配置図



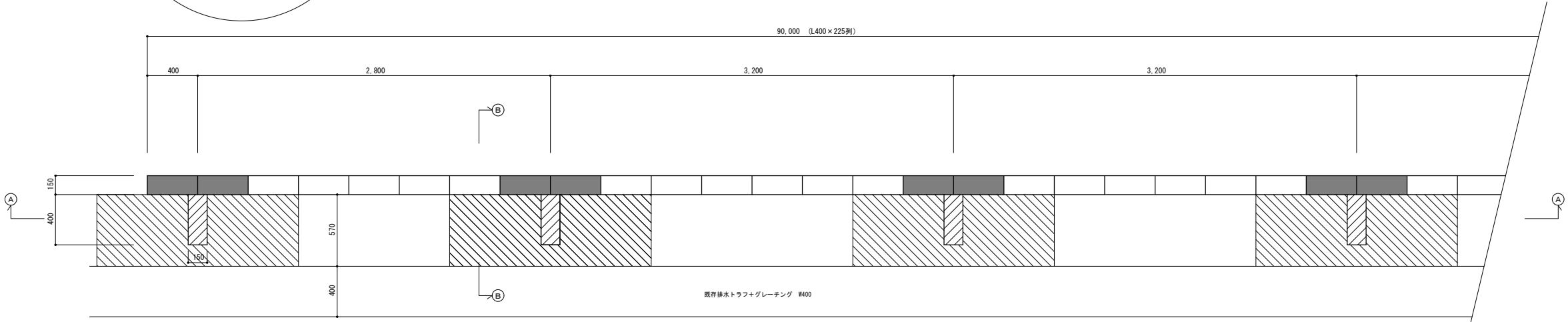


現況平面図 S=1/300



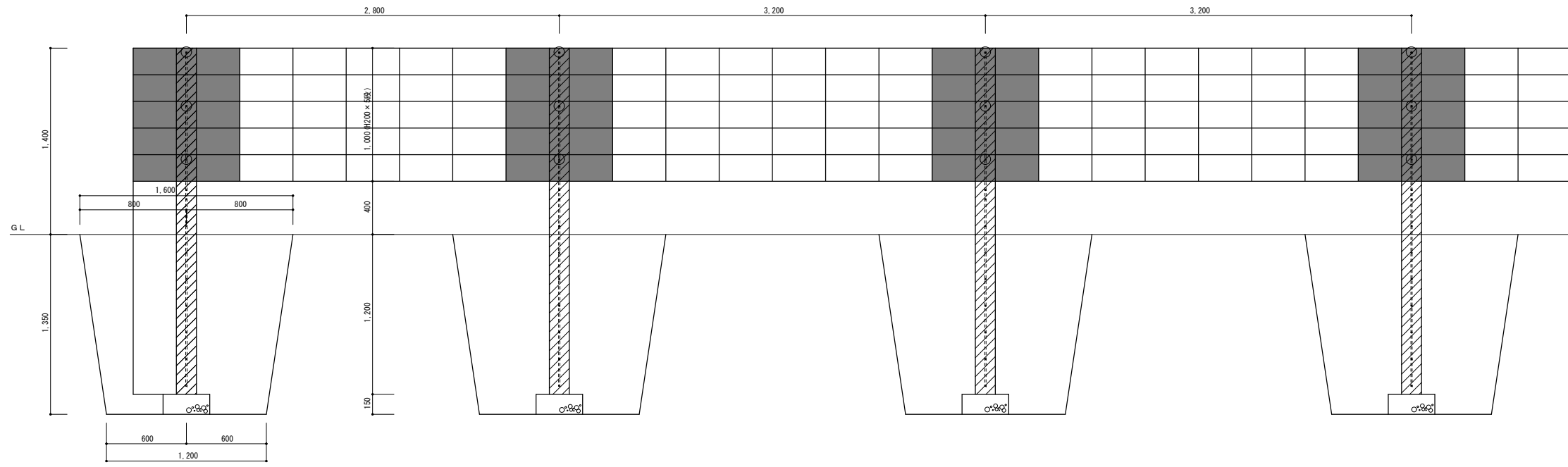
改修平面図 S=1/300

- ... コンクリートブロック撤去・新設 (5段 x 2列 x 29ヶ所)
- ▨ ... コンクリートブロック壁控え壁新設 (L=400 5段 x 29ヶ所)

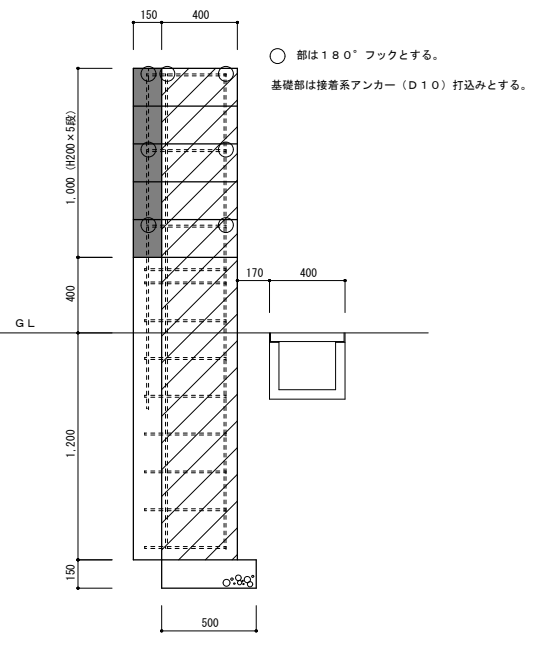


平面詳細図 S=1/40

- ▨ ... 舗装撤去・復旧及び 掘削・埋戻し範囲 (≒1.0m2/ヶ所)



A~A 断面図 S=1/40



B~B 断面図 S=1/40

- 部は180°フックとする。
- 基礎部は接着系アンカー (D10) 打込みとする。